

「りのいずむ」とは…

リノ・ハピア（リノベーションを通じてハッピーに！という思いのこもった社名）とイズム（流儀）から作った造語。リノ・ハピアらしさを詰め込んだ社外報です。

消火設備の交換工事①

城東支店管轄の団地に設置されている立体駐車場の二酸化炭素消火設備は、消防法の定めにより25年を経過するまでに貯蔵容器（ボンベ）の頂部に取り付けられている容器弁を交換することが義務付けられています。

容器弁は消火ガスを放出するための開閉弁で、当該設備の心臓部的な構成部品のため、交換作業はメーカーの工場引き取りによる責任施工として発注しました。所轄消防署への着工届を行った後、円滑な工程管理と安全管理及び居住者対応での施工管理が求められました。

作業は容器弁付きの貯蔵容器54本（仮設置の貯蔵容器を含め計108本）を約3か月間で3回に分けて、地下2階の二酸化炭素消火設備室から地上に搬出し、大型トラックで工場まで陸送する手順で行いました。貯蔵容器は1本あたり150kgの重量物のため、運搬時の安全管理に特に留意する必要があります。

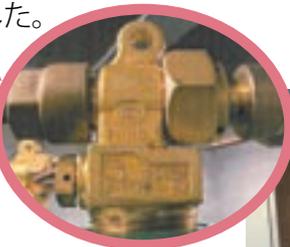
地下2階からの搬出・搬入は防災センターの協力を得て、貨物用エレベーターを地下2階まで下ろし、地下と1階エレベーターホールに無線機を携帯した警備員を配置し、居住者様への安全を配慮し、スムーズな搬出・搬入を行いました。すべての作業が終わり、消防法に基づき所轄消防署への設置届を提出し、全工程を事故なく無事に完了することができました。

搬出

→

運搬

（営業二部）



先端に付いている
容器弁を交換します！



埼玉支店管轄の団地内の大規模屋内駐車場に設置されている、消火設備の一部交換工事を行いました。

こちらの消火設備は、通常の消火設備とは異なり、火災があった際に泡状の水を発生させます。駐車場の他、水による消火では防げないような工場、危険物取扱所等に設置されることが多いです。

火災に反応すると、水と発泡剤が混ざり泡となって散布し、炎に覆いかぶさり、空気遮断による窒息と含んだ水の冷却作用で鎮火します。

今回は、錆の発生と劣化により、水が入っている呼水槽容器自体と中身の水、配管のバルブ交換工事を行いました。作業中配管内の水の流出を防ぐため、配管内の水の一部を液体窒素で凍らせ、工事ができる

状態にしてからの作業となりました。また、バルブが非常に重たく、交換時は対応人数とチェーンブロックという重量機材を持ち上げる機械が必要でした。

実際に被害が起きる前に、設備全体の腐食や劣化に気を配り、事故を未然に防ぎ安全を守るとも重要な工事となりました。

（埼玉支店）

交換作業中！



配管バルブ

呼水槽容器

塗装前の試験施工

今回は、昨年11月より着工した横浜市の物件の様子をご紹介します。当物件は、外壁がコンクリートの打ち放し仕上げとなっており、コンクリート表面の劣化が見られるため、今回の大規模修繕工事で保護塗装を行う計画となっております。

そこで塗装工事に先立ち、現地で試験施工を行いました。

試験施工でのチェックポイント！

- ① 既存のひび割れや下地補修材の仕上げに対する影響
- ② 保護塗料の色や濃さ
- ③ 仕上げ模様（パターン）の量

これらを比較できるように、現地に1m角の試験体の

3色×模様2種を作成しました。この試験体を参考に工事発注者様と協議し、本施工へと移っていきます。

実際に壁の一部を施工して、
塗装色や補修範囲を確認していただきます！



リノ・ハピアでは、発注者様の期待に応えられるような様々な工夫を行っております。当現場でも期待以上の評価が頂けるよう担当者一丸となって頑張っております。
(神奈川支店)

ユニットバスの床補修

今回は、ユニットバスの床補修をご紹介します。日常生活で、洗い場の床に乗って『ギンギン』と床が鳴ることや『フワフワ』と感ることがありませんか？基本的な構造として、ユニットバスの床下には配管などを通すための空間が必要になります。空間を作るために、束（つか）と呼ばれる材料にて、床材を何点かで支えています。長年ユニットバスを使用していると床自体に「たわみ」が生じてきます。その「たわみ」が床と束との間にすき間をつくり、前述した音が鳴るなどの現象が起きる原因となります。

補修方法

- ① 不具合箇所（床鳴り）の付近の床を開口します。
- ② その開口部から、新たに束を必要数設置して補強をします。
- ③ 不具合が直った事を確認後、開口した部分を塞ぎ、ガラスクロスと樹脂で防水処理を行います。
- ④ 最後に床シートを張り、コーキングで端部を処理して完了です。（今回の工事は、養生期間を含み2日間になりました。）



新しくプラスチックの
束（つか）を設置しました！



ユニットバスに不具合が発生した時は、一式取替えをお考えになる前に、築年年数・費用・工事日数等を考慮してから、補修内容を決定してみてもはいかがでしょうか。
(千葉支店)

建物を元気に、人を笑顔にする

リノ・ハピア株式会社

お問い合わせ先

リノ・ハピア 検索

本社
〒145-0062 東京都大田区北千束 3-1-3(渡辺ビル)
TEL: 03-3748-4021 FAX: 03-3748-4022

☎: 0120-270451
URL: <http://www.reno-happia.co.jp/>
MAIL: info@reno-happia.co.jp

城東支店 TEL: 03-3625-7861
〒130-0012 東京都墨田区太平 1-2-11 朝日ビル 2F
多摩支店 TEL: 0423-60-1333
〒183-0027 東京都府中市本町 2-7-26
神奈川支店 TEL: 045-620-3831
〒224-0025 神奈川県横浜市都筑区早渕 3-4-20
埼玉支店 TEL: 048-242-5404
〒335-0004 埼玉県蕨市中央 3-7-1 ジェイホームビル 4F
千葉支店 TEL: 043-275-4373
〒262-0023 千葉県市川区検見川町 5-273(清建ビル 3F)
城北支店 TEL: 03-3852-3818
〒120-0013 東京都足立区弘道 1-31-10

- 工事業業
- ◆仮設工事
 - ◆下地補修工事
 - ◆外壁剥離・剥落防止工事
 - ◆塗装工事
 - ◆防水工事
 - ◆耐震補強工事
 - ◆ドア・サッシ交換工事
 - ◆外断熱工事

編集後記

4月に入りました。今年も新たに社員が入社し、開花した春の桜と共にフレッシュな風を届けてくれています！

建設業は常に人手不足と言われておりますが、住まいのことでお困りのお客様に、これからはしっかりと寄り添っていきけるよう、新入社員の教育にも力を入れてより一層頑張っております。

<読者アンケート>

ご回答いただいた方
全員にもれなく500円分の
クオカードをプレゼント！
※初回のみ

